

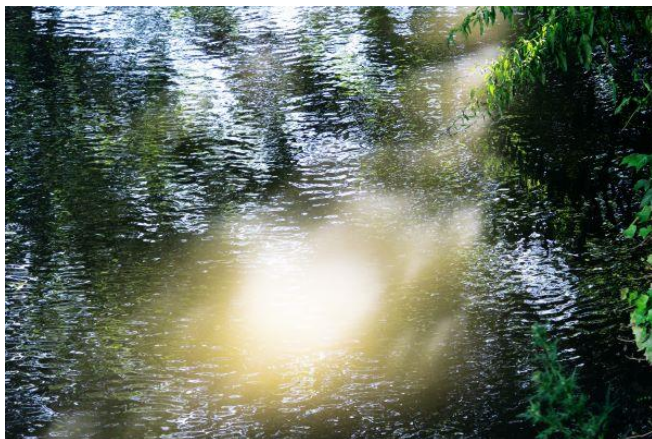


あらゆる世界的前提が変化し、直接的な移動やコミュニケーションに困難が伴ういま、点的な距離で考えることで、これまでと違った沢山の気づきや可能性の発見がありますが、やはり僕は、まだ知らない場所やコミュニティへと赴き、そこで感覚や思考を働かせ、新しい関係性/方向性が生まれていくことへの希望を、より一層感じています。

来年から1年間、フランスでの滞在制作を予定しているのですが、うまくいかないこと、挫折してしまいそうなことが起こるのだと思います。

それでも新たな街や人々と出会い、様々な経験をして、不器用なりに考えて、アウトプットをしてみることに。そして共有をしてみることに。その循環には何事にも変えられない価値があり、そこから発生するフィードバックは、社会や環境、世界との関わり方や、個人の認識に変化をもたらします。それはアーツ前橋での、僕にとっては初めてのレジデンスの経験からも、確かに感じていることです。アートや音楽といったものの備えている力が、いままで以上に求められる時代になるのだと考えています。

この3月からは、近所の大きな川沿いをずっと歩いていました。気が付けば草木の背丈は自分を超えていき、夏の気配を感じています。少しずつ変わっていく風景を眺めると、自分達もまた環境と共に変化をし、新しいかたちを考えていかなければならないのだと言われているような気持ちになります。



様々な困難を乗り越えた先の世界で、またアーツ前橋や、前橋の人々と時間を共にする日を楽しみにしています。

梅沢英樹

2020年6月